

令和5年11月1日発行

発行 栄東地区まちづくり未来会議

(Tel.711-2203)

栄東地区まちづくり未来会議 検索



# 未来会議だより

--令和5年9月23日(土)--

## 動物とのふれあいにご満悦！

### ひのまる公園移動動物園



草を1日中食むヤギなど様々です。リクガメには、小さな子ならば跨いで乗ることができ、フクロウやハリスホークを腕にのせるコーナーもあり、滅多にできない動物とのふれあいに子どもたちはご満悦でした。



今年で4回目となる「ひのまる公園移動動物園」が開催されました。会場のひのまる公園には544名(幼児107名、小学生225名、保護者212名)が集い、小動物とのふれあいを楽しみました。

今回は、ウサギ、モルモット、ヤギ、ジャンボウサギ、アヒル、大型リクガメ、ニシキヘビ、コーンスネーク、アオジタトカゲ、ヨツユビハリネズミ、メンフクロウ、ハリスホーク、ミーアキャットの13種類が出展されました。

ニシキヘビを肩にのせて記念撮影をするコーナーは、大きなヘビに動じることなく、笑顔で記念撮影をする子が多く、大人気です。



エサやりでは、終始先を争ってエサをついばむアヒル、午前中エサを食べすぎ午後には昼寝をきめこむウサギ、エサのニンジンでは足りず、公園の

この移動動物園の運営には、連合町内会、青少年育成委員会、交通安全母の会、交通安全指導員会、交通安全協会、地域安全活動推進委員会、中学生ボランティア8名を含む延べ43名が参加しました。中学生ボランティアは受付や会場整理、動物とのふれあいのサポートなどに大活躍で、栄東地区の大きなイベントには担い手として欠かせない存在となっていると言えます。



▲イベントを支えるボランティアの皆さん。中学生も大活躍！

--令和5年10月1日(日)~5日(木) --

## 献身的な街頭募金活動に感謝 赤い羽根共同募金

令和5年度(第77回)赤い羽根共同募金運動が10月1日から1週間行われました。栄東地区では、運動開始にあたり、地区内で街頭募金を実施しました。新型コロナで令和2年~4年は中止を余儀なくされたことから4年ぶりの再開になります。

10月1日は栄東地区民生委員・児童委員協議会の10名、2日は栄町団地幸友会の6名、3日は日赤奉仕団栄東分団の5名、5日は大栄寿会の2名の計4団体23名がホクレンショップ49条店前やイオン北海道栄町店前で街頭募金を実施しました。

参加者は、赤い羽根のジャンパーとタスキをかけ、買い物に訪れた方々に募金の協力を呼びかけました。雨や風の強い日も、献身的に募金活動をしていただきました。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。



--令和5年10月11日(水)--

## たまねぎに願いを込めて 交通安全街頭啓発



この日、地下鉄栄町駅交差点で「交通安全たまねぎキャンペーン」が開催されました。毎年栄東連合町内会が主催する街頭啓発で、今回が第38回目にあたります。

この啓発は、道行くドライバーや歩行者に、東区の名産品であるたまねぎを配布しながら、交通安全を訴えるもので、今や栄東地区の秋の風物詩になっています。参加されたのは、栄東連合町内会役員、単位町内会、栄東地区の交通安全推進委員会、交通安全母の会、交通安全指導員栄東支部、東交通安全協会栄東支部などの50名です。

配布したたまねぎ約700袋は、このキャンペーンの創設者の故・氏家謹一様のお孫さんである氏家正喜様より故人の意思を引き継いでご寄贈をいただきました。開始から30分ほどで配布を終えましたが、たまねぎに込めた思いがきっと伝わり、交通事故のない栄東地区の実現に一役かってくれることでしょう。

引き続き、栄東地区交通安全教室を日の丸会館で開催しました。教室では、東警察署交通第一課企画規制第一係の大柳謙児・係長の講話があり、ほんのちょっとした気の緩みや不注意から死亡事故に至った道内や東区内の交通事故例を基に、事故を防止するための留意点などのお話がありました。



▲啓発後の交通安全教室の様子

栄東地区は、7月23日に交通事故死ゼロ2000日を達成しましたが、参加者は、講話の教訓を胸に、今後も持続を目指そうと思いを新たにしました。